

製品名: EBP1/PA2G4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84242**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa ; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	EBP1/PA2G4
別名	hG4 1; Mpp1; p38 2G4; Pa2g4; Plfap;;PA2G4
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9UQ80
免疫原	ヒト PA2G4 由来の合成ペプチド

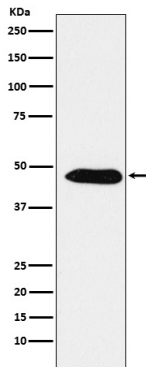
背景

ERBB3 制御のシグナル伝達経路において役割を果たす可能性がある。成長制御に関与していると考えられる。アンドロゲン受容体 (AR) のコリプレッサーとして作用し、ERBB3 リガンドであるニューレグリン-1/ヘレグリン (HRG) によって制御される。E2F1 制御プロモーターの一部の転写を阻害するが、これはおそらくヒストンアセチラーゼ (HAT) 活性をリクルートすることにより行われる。RNA に結合する。28S、18S、5.8S 成熟 rRNA、いくつかの rRNA 前駆体、そしておそらく U3 核小体小 RNA と結合する。rRNA プロセッシングの中間段階および後期段階の制御に関与している可能性がある。

研究分野

-

画像データ



A431 細胞溶解物中の EBP1 / PA2G4 発現のウェスタン ブロット解析。